

患者さまへ

「虫垂腫瘍の発生起源についての後方視的観察研究」

この研究は、通常の診療で得られた記録および残余検体を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難な場合で、かつ対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	当院で、2017年4月1日から2023年3月31日までの期間に急性虫垂炎の診断で虫垂切除術を受けた方、および「虫垂腫瘍」の病名で手術を施行した方。
2 研究目的・方法	<p>[目的]</p> <p>この研究は、当院において過去に虫垂腫瘍を指摘された症例について、腫瘍の発生率、病理学的な特徴や合併率を明らかにすることを目的としています。</p> <p>[方法]</p> <p>当院の外科において、上記の対象となる方について、日常診療の過程で得られた臨床情報および切除標本の残余検体の検討を行います。</p> <p>[研究期間]</p> <p>施設院長許可(2023年7月予定)後～2026年12月</p>
3 試料・情報の利用拒否	<p>試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報: 年齢、性別、入院日時、退院日時、手術日、病名、術式、合併症、病期、病理診断など</p> <p>試料: 摘出した病理検体(虫垂、腹水など)</p>
5 研究実施体制	<p>[試料・情報の提供を受ける機関]</p> <p>京都大学医学部附属病院、病理診断科・羽賀 博典</p> <p>[試料・情報を提供する機関]</p> <p>宇治徳洲会病院、外科・長山 聡</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>当院の院長: 末吉 敦 URL: www.ujitoku.or.jp</p> <p>臨床情報などデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。</p>

	病理検体を送付する場合には、京都大学担当者へ直接手渡し又は宅急便にて配送します。
6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 住所：〒611-0041 京都府宇治市槇島町石橋 145 番 電話番号：0774-20-1111(代表) 研究責任者：宇治徳洲会病院、外科・長山 聡</p>

2023 年 8 月 1 日作成(第 1.1 版)